JISA版 NTCプロジェクト 第4期 カリキュラム

JISA 人材委員会



JISA版 NTCプロジェクト 概要



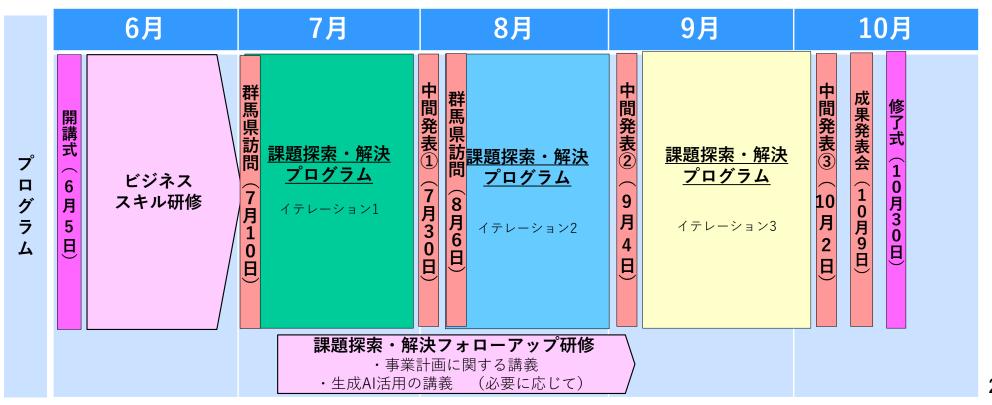
トップクラスのITエンジニアが互いに切磋琢磨しながら、5ヶ月程度の期間設定の上、社 会課題の実践的解決プロジェクトの遂行を通じて、人材力を高度化するトレーニングプロ グラムとなります。

第4期プロジェクトにおいては「課題探索と価値創造スキルの向上」、「多様な協働体 験」「現場主義と実践的手法の学習」について特に育成するポイントとし活動します。

群馬県をフィールドとし、本年度は『**多文化共生**』を課題領域とし、課題の探索や解決案 を検討し、提案書に取りまとめます。

※『多文化共生』とは群馬県での暮らしや外国人活躍推進に関わる取り組みです。

https://www.pref.gunma.jp/soshiki/36/



プログラム詳細 ビジネススキル研修 (6月)



トップエンジニアに必要となるビジネススキルを習得します。エスノグラフィー手法を中心に課題の探索や解決に必要な知識と手法を学び、トレーニングを通じて体験的に身に付けてもらいます。実地研修の概略の疑似体験を通じて、課題探索と課題解決の手順を 自ら組み立て実践できるよう備えます。講師は、芝浦工業大学 平田 貞代先生となります。

2025年ビジネススキル研修

*講義内容や進行時刻は目安であり当日の理解度や議論により変更する可能性があります

2023年にジャスペール研修 *講義内容や進行時刻は自安であり当日の理解度や議論により変更する可能性があります						
Day 月日		場所	イベント	主な内容	Slackへの提出物	主な分野
1 6/5 (木)			連絡事項・ガイダンス 講義 演習 プレゼン&ディベート 受講者懇親会	群馬課題・ゴールの確認 REASAS等を用いた地域特性の量的分析 テーマに関する資料を参考にした全体討議	群馬課題探索希望アンケート (Day1終了時刻迄) 演習成果物(Day2開始時刻迄) ピッチシート(Day2開始時刻迄)	戦略/マネジメント 社会課題調査 定量分析
2 6/6 (金)	15:00 16:00 17:00		ピッチ&ディベート 講義 演習 プレゼン&ディベート	多文化共生情報収集結果 価値創造、地域課題解決DX事業の事例 解くべき課題の特定 解くべき課題の検証	演習成果物(Day3開始時刻迄) ピッチシート(Day3開始時刻迄)	ビジネス調査 価値創造
3 6/13 (金)	15:00 16:30 17:00	Zoom	ピッチ&ディベート 講義 演習	解くべき課題の検証結果 データ収集手法(ビジネスエスノグラフィ等) コンセプトの創造 コンセプトの検証	演習成果物(Day4開始時刻迄) エスノグラフィ(Day4又は5開始 時刻迄) トップマネージャーインタビュー 結果(Day6開始時刻迄)	顧客・ユーザ理解 デザイン手法 定性分析
4 6/19 (木)		Zoom	ピッチ&ディベート 講義 演習	コンセプトの検証結果 ビジネスモデル、マーケティング ビジネスモデルの構築 ビジネスモデルの提案	REASAS又はエスノグラフィによるビジネスモデル検証結果(Day5開始時刻迄)	ビジネスモデル ビジネスアーキテクチャ
5 6/26 (木)	15:00 16:00 17:00	Zoom		ビジネスモデル検証結果 事業構想、事業評価方法 事業計画書 事業提案	REASAS及びエスノグラフィによる事業計画書案検証結果 (Day6開始時刻迄)	データ/AI戦略的活用 ビジネス検証
6 7/3 (木)	15:00 17:00 17:30 18:00	JISA 会議室	プレゼン&ディベート 演習 振り返り・Q&A メンターOB懇談会	事業提案の検証結果 群馬課題探索実習の実行計画書の作成 県庁インタビュー概要書の作成	群馬課題探索実習活動計画書 (Day6終了時刻迄) 県庁インタビュー概要書(Day6 終了時刻迄)	コンセプチュアルスキル 戦略・マネジメント

プログラム詳細 ビジネススキル研修(6月 RESASについて)



課題探索・解決プログラムにおいてデータの利活用をする際に必要となるRESASスキルについて自己学習で習得します。

地域活性化に向けたデータの利活用(RESAS)※ (総務省YouTube動画を視聴)

地域情報を可視化するWebアプリケーションの「地域経済分析システム(RESAS:リーサス)」について、開発背景、 オープンデータやビッグデータとの関係、RESASの普及の取り組みについて学びます。また、RESASの人口マップ、産 業構造マップ、観光マップ、まち作りマップ、地方財政マップを用いて操作方法と出力の見方を確認します。

(参考サイト 総務省:https://www.chisou.go.jp/sousei/resas/resas_setsumeidouga.html)

課題探索・解決プログラムにおいて、地域の基礎データを確認する際にRESASを活用してください。

【RESASサイト】 https://resas.go.jp/

【活用の仕方】

以下サイトのRESASの活用方法を視聴してください。

https://www.chisou.go.jp/sousei/resas/resas_setsumeidouga.html

RESASの活用方法について、各マップ毎に解説されています。それぞれ5分~10分程度です。

プログラム詳細 課題探索・解決プログラム (7月~10月)



【実習の目的】ビジネススキル研修、課題探索・解決フォローアップ研修を応用し、課題の探索や改善に必要な洞察力、企画力、交渉力等を鍛える。

【達成目標】潜在的な課題やその発生構造を捉え、状況を改善するために、情報サービスをいかし地域に価値を提供する提案を構築できる。

【実習後のゴール】自社の情報サービス技術をいかし、地域に価値を提供する新ビジネスを創造し、遂行する。

遁	围	月/日	時間	場所	イベント	主な内容	提出物
1			pm	群馬県庁	キックオフ	・オリエンテーション	
	7	7/10(木)			県庁内でのご挨拶とヒアリング	・関心ある幾つかの課題に関する情報収集	
				グループ活動の計画	・収集した情報を参考に今後の活動の目的、方法、スケジュールなどを検討	•活動計画書	
テレーショ		7/14~ 7/21~		自由	グループワーク1	・フィールドワーク(現場観察、体験、インタビュー)、アンケート、オープンデータ調査、 等によるデータ収集 ・収集したデータに基く、社会課題や要因の発見や因果関係等の探索 ・中間発表1の準備	・収集したデータ・提案書案1・発表ファイル1
ュ ン 1 4	7	7/30(水)	pm	JISA会議室	中間発表1	各チーム (発表10分 質疑45分) ・チーム間意見交換 ・メンターからのアドバイス ・多面的な視点に基づく、課題の妥当性の確認	
	8	3/6(水)	pm	群馬県庁	県庁内でヒアリング	・中間発表1を踏まえ再度ヒアリング	
5	8	3/4~			グループワーク2	 ・グループワーク1に基づく、計画の軌道修正、データや調査の補足、社会課題や要因	
1 テ 6	8	3/11 ~		自由		の再探索	・収集したデータ
7 7	9	3/18 ~				・社会課題の分析に基づく解決方法の検討	┣・制作物 ┣・提案書案2
リー ショ ショ		9/25~				・プロトタイプ、モックアップ、シミュレーション等の制作・中間発表2の準備	・投来音条2・発表ファイル2
ョ ン 2 9	g	9/3(水)	pm	JISA会議室	中間発表2	各チーム (発表10分 質疑45分) ・チーム間意見交換 ・メンターからのアドバイス ・多面的な視点に基づく、課題の妥当性の確認	
10) 9	9/8~		•			
イー	_					・グループワーク2に基づく、最終提案書の作成	-制作物
.′ ⊢	_	9/15~	自由		グループワーク3	・社会課題の分析に基づく解決方法の検討 ・プロトタイプ、モックアップ、シミュレーション等の改良	•提案書案3
12	2 9	9/22~				・プロトダイン、モックアック、クミュレーション等の以及	最終発表ファイル
-	3 8	9/29~				The state of the s	
3	1	10/2(木)	pm	JISA会議室	最終発表リハーサル	・成果やその伝え方についての精度や信頼性の向上	
ン 3 14	1 1	10/9 (木)	pm	群馬	最終発表、講評	・社会課題や要因 解決案の提示	

課題探索・解決プログラムの進め方とPoC実施について



インプット

群馬県から提示された課題領域

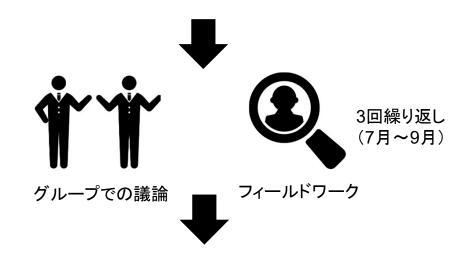
群馬県が取り組んでほしいと考えている課題領域から課題の深堀をおこなう。本年度は『**多文化共生**』をテーマに取り組みます ____



ビジネススキル研修にて課題の設定、机上での課題 の探索とその解決提案の検討 (6月中)



群馬県訪問。机上で検討した課題の設定とその解決 案について討議、課題の確認(7月上旬)



<u>アウトプット(10月中旬)</u>

探索した課題の内容と、その課題の解決案 について提案書として発表。

【提案書】

- ・『多文化共生』に関する課題を探索した結果と、その解決案について提案書として取りまとめます。
- ・課題の探索のフィールドとしては、群馬県やその他地域の状況なども考察に加え、課題の真因を探索します。
- ・解決案については、<u>その事業性について</u>十分考慮したものを提示することします。また、最新のIT技術(生成AI等)の活用なども検討に加えることとします。



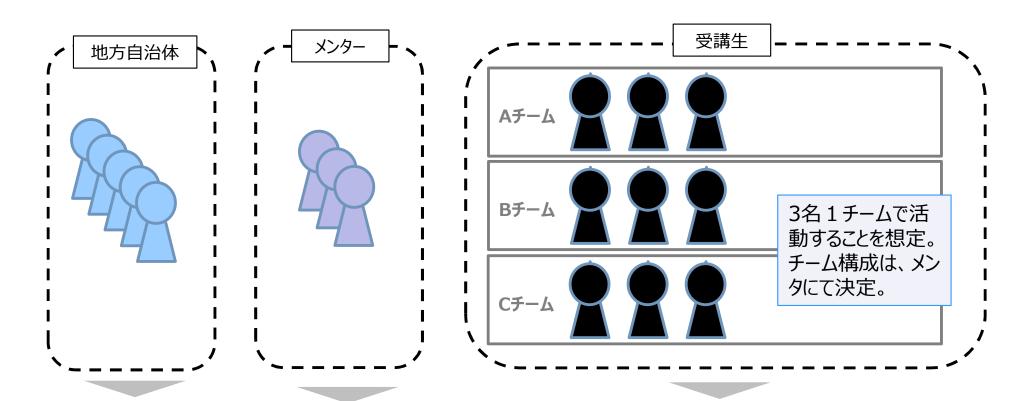
<u>継続して取り組みたい場合</u>

JISA Digital Innovation Challengeに応募

課題探索・解決プログラムの構成メンバについて



参加者を3名のチームに分け、それぞれのチームがメンターのサポートの下で活動をおこないます。チームで地域課題の探索をおこないその解決案を検討し、チーム内で議論をとりまとめ地域課題解決策を提案書に取りまとめます。



- •地域課題の共有
- •ヒアリング対応

- •担当チームのサポート
- •チーム進捗の確認
- 参加者のモチベーション管理等
- •提案書の作成(チーム作業)
- •チーム内での人材交流(チーム作業)

プログラム詳細 (想定時間/割合)



イベント	サブワーク	回数・週	各時間/割合
開講式		1	2
ビジネススキル研修	講義・演習	6	3
	自己学習	6	4
課題探索・解決プログラム(イテレーション1)	グループワーク	4	50%
	中間発表	1	8
課題探索・解決プログラム(イテレーション2)	グループワーク	4	50%
	中間発表	1	8
課題探索・解決プログラム(イテレーション3)	グループワーク	4	50%
	最終発表リハーサル	1	8
成果発表会		1	4
修了式		1	4

想定している研修時間はこちらの通りです。課題探索解決プログラムの進捗状況や取り組み状況によっては、これ以上の時間がかかることがあります。

カレンダ



プログラム	日程	講師・他	実施形態
開講式	6月5日(木)14:00~15:00	松田委員長 平田先生 古宮さん	JISA会議室
ビジネススキル研修	第1回 6月5日(木) 15:00~18:00 (18:00~19:30 懇親会) 第2回 6月6日(金) 15:00~17:00 第3回 6月13日(金) 15:00~17:00 (当初12日でしたが変更になりました) 第4回 6月19日(木) 15:00~17:00 第5回 6月26日(木) 15:00~17:00 第6回 7月3日(木) 15:00~18:00 (18:00~19:30 懇親会)	【講師】 芝浦工業大学 平田先生	第1回、第2回、6回 JISA会議室 第3回〜5回 オンライン ※1回目は開講式終了後実施します ※1回目、6回目終了後は、事務所内で簡 単な懇親会(19時半まで)を開催します
ビジネススキル研修(自主学習)	RESASに関する自己学習	総務省のサイトにて自己学習	Eラーニング
課題探索・解決プログラム キックオフ	7月10日(木) 14:30~17:30	群馬県様 松田委員長 平田先生 古宮さん メンタ皆さん	NETSUGEN/群馬
課題探索・解決プログラム イテレーション 1	7月中 メンバー内で調整して活動 (毎週月曜日10時〜11時に 進捗確認・フォロアップ研修を実施予定)		
課題探索・解決プログラム 中間発表 1	7月30日(水) 午後	松田委員長 平田先生 古宮さん メンタ皆さん	JISA会議室
課題探索・解決プログラム 群馬県様ヒアリング	8月6日(水) 13:30~17:00	群馬県様 松田委員長 平田先生 古宮さん メンタ皆さん	NETSUGEN/群馬
課題探索・解決プログラム イテレーション 2	8月中 メンバー内で調整して活動 (毎週月曜日10時~11時に 進捗確認・フォロアップ研修を実施予定)		
課題探索・解決プログラム 中間発表 2	9月4日(木) 午後	松田委員長 平田先生 古宮さん メンタ皆さん	JISA会議室
課題探索・解決プログラム イテレーション 3	9月中 メンバー内で調整して活動 (毎週月曜日10時〜11時に 進捗確認・フォロアップ研修を実施予定)		
課題探索・解決プログラム 最終発表リハ	10月2日(木) 午後	松田委員長 平田先生 古宮さん メンタ皆さん	JISA会議室
課題探索・解決プログラム 最終発表	10月9日(木)13:30~17:00	群馬県様 松田委員長 平田先生 古宮さん メンタ皆さん	NETSUGEN/群馬
修了式	10月30日(木) 16時~18時半	福永会長 松田委員長 平田先生 古宮さん メンタ皆さん	JISA会議室

運営体制



JISA NTCプロジェクト

NTCプロジェクトリーダ:

松田 信之(情報サービス産業協会 参事人材委員会委員長)

NTCプロジェクトプログラム総括:

平田 貞代(芝浦工業大学・東北大学 准教授)

役割:NTCプロジェクト全体のプログラム検討担当/ビジネススキル研修講師/課題探索・解決プログラム総括

課題探索・解決プログラムメンタリーダ:

古宮 浩行 (株式会社 Bee S 代表取締役社長) ※メンタリーダ

役割:課題探索・解決プログラムメンタとりまとめ/課題探索・解決フォローアップ研修担当

課題探索・解決メンタ:

新井 朗(NRIデジタル株式会社 CIO(最高インキュベーション責任者))

浦野 隆好(ティッピングポイント株式会社 代表取締役)

河西 祐介(一般社団法人REIONE 代表理事)

濵野 賢一朗(株式会社NTTデータ ソリューション事業本部 OSSビジネス推進室長)

役割:各チームのメンタリング

事務局:JISA事務局 大原 道雄

群馬県(課題探索・解決フィールド)

群馬県側窓口:群馬県 知事戦略部デジタルトランスフォーメーション課

ぐんま暮らし・外国人活躍推進課